

地域活性化雇用創造プロジェクトについて

令和 7 年 3 月 14 日



地域活性化雇用創造プロジェクトについて



地域活性化雇用創造プロジェクトについて

- ✓ 都道府県の実情や課題等に応じ、魅力ある雇用機会確保や企業ニーズにあった人材育成、就職促進等の事業を一体的に実施することで、地域における「良質な雇用」の実現を図る取組に対し国から補助金支援。
- ✓ 滋賀県においては、令和6年度から本事業を活用し、3か年間(令和8年度まで)の事業を実施

本県における課題と取組の方向性

課題

- ①産業人材不足の解消（喫緊の課題）
- ②県内企業の持続的な発展による魅力ある雇用の場の確保（中長期的な課題）



「ひとづくり」の取組強化に向け、本プロジェクト補助金を活用し施策を展開

<企業・事業主>

- ①採用力の強化・経営層の意識改革（製造、卸小売、運輸）
- ②生産性向上による経営基盤の強化（製造、卸小売、運輸）
- ①②高度・専門人材の確保（製造、情報通信）

<求職者・労働者>

- ①②若者などの求職者
- ①②外国人材
- ①②デジタルスキルを獲得したい求職者・在職者

取組の方向性

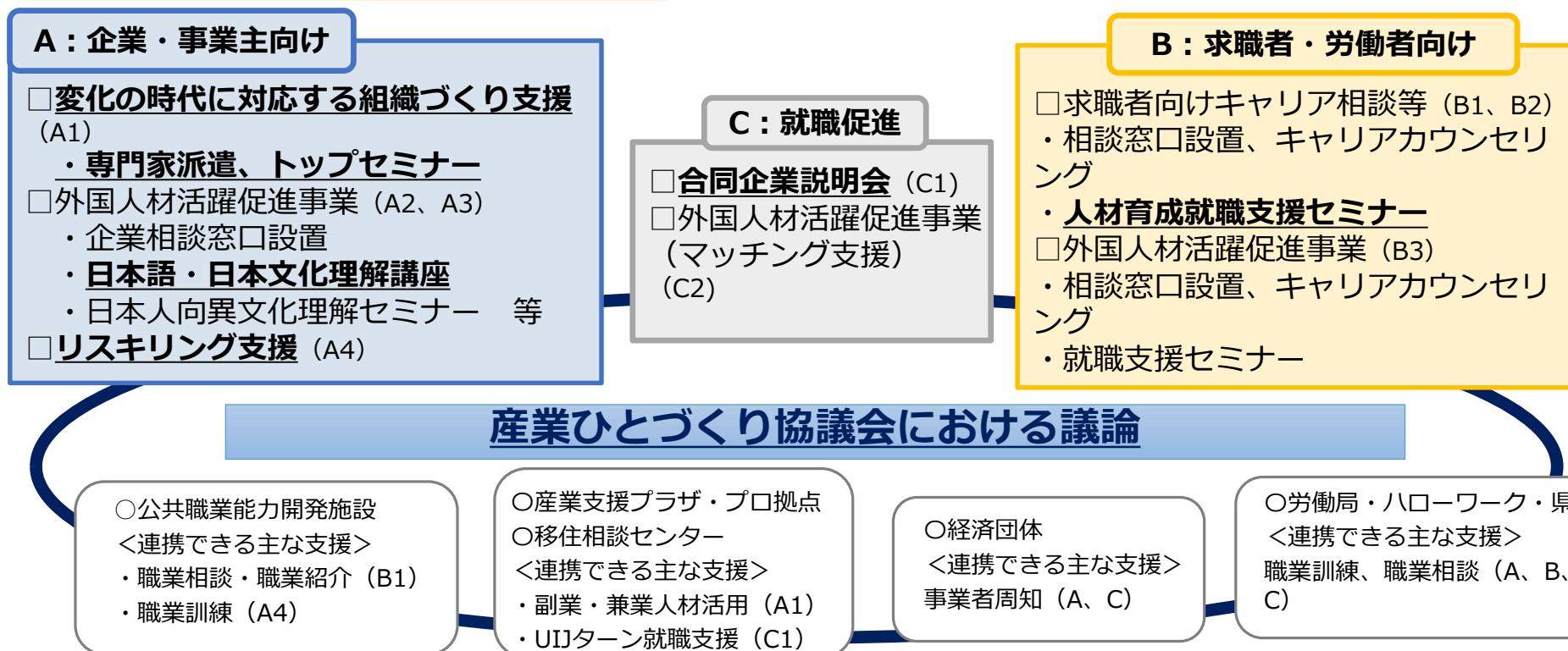
- ①製造業等の対象分野の従事者の確保(ABC)
- ②企業の経営強化に資する人事制度再構築(A)
- ①②若年従業員の定着(AB)
- ②労働市場の流動化促進(企業・労働者とも)(AB)

本県が実施する地域活性化雇用創造プロジェクトの概要



事業テーマ	戦略的雇用創造分野	事業期間	県内企業からの意見・要望・提案等
選ばれる滋賀の実現	製造業、卸・小売業、 運輸業、情報通信業 等	R6～R8 年度	◆ 企業人事において、何かを変えなければならないという危機感を感じてはいるが、何から手をつけていいのかわからない。 ◆ 若手人材に知識や能力をいかに継承できるか、人を継続的に採用していけることが大切。 ◆ 求める能力を持つ人材なら国籍は問わない。
事業規模・事業効果			
【事業費】 2.53億円 (R6 : 0.30億円 R7:1.10億円 R8:1.13億円) 【事業効果】 良質な雇用 : 285人 (R6:30人 R7:120人 R8:135人)			

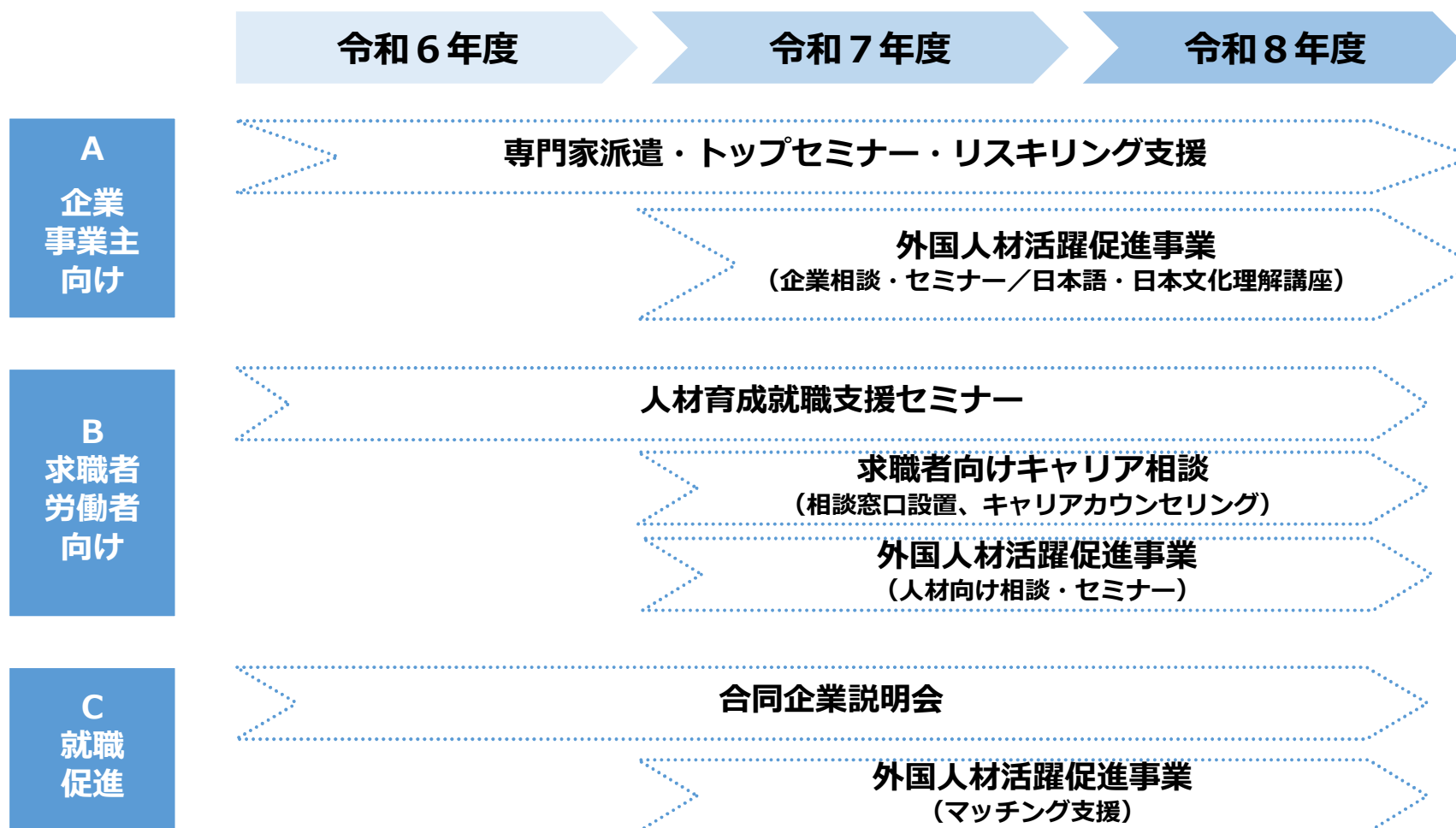
※令和6年度は**太字・下線事業を先行実施**



本県が実施する地域活性化雇用創造プロジェクトの概要



- 本県のプロジェクトは、令和6年度から令和8年度の3か年計画として実施。
- 外国人材関連施策等は、本年度の協議会議論等を通じ課題の把握等を行い、令和7年度より本プロジェクトにて本格的に施策展開。



令和6年度に実施したプロジェクト事業の進捗等



A：企業・事業主向け支援

令和6年度の実施	実績
<u>変化の時代に対応する組織づくり支援</u>	経営層向け採用勉強会「しが採用ゼミ」（参加10者） 人材確保にかかる経営層向け相談支援 （97社 ※1月末時点）
<u>外国人材活躍促進事業</u>	外国人材を対象に、日本語能力やビジネス文化理解 促進に向けた講座を実施（25者修了）
<u>リスキリング支援</u>	「人的資本経営に向けたリスキリングセミナー」実施 （36者参加）

産業ひとづくり協議会での意見

- ・職場環境の充実や業務工程の効率化、リスキリングなど、企業の生産性を高める支援が必要。
- ・中小企業の経営層に対し、リスキリングについて投資としての意識に変えていく取組が有効ではないか。

令和7年度の実施の方向性

- ・地域産業を担う労働力不足の深刻化に加え、DXなど社会環境変化により必要な人材要件が変化する中、人材確保に加え定着・育成までを見据え、「人への投資」に向けて取り組もうとする企業に対する支援を強化（人的資本経営に向けた経営層のマインドチェンジ等）。

令和6年度に実施したプロジェクト事業の進捗等



B：求職者・労働者向け支援

取組	実績
<u>人材育成就職支援セミナー</u>	「SJP未来塾」 大学生や既卒者、若手社員等に対し、社会人基礎力の養成や就職活動支援のためのセミナーを開催 (53回実施、1204名受講 ※1月末時点)

産業ひとづくり協議会での意見

- ・自分の軸がまだ定まっていない学生に対し、県内就職の魅力や滋賀で働く理由をどう見出すかなど、県内企業を選択肢として考えてもらうための工夫が大切ではないか。
- ・外国人材ならではのステップアップ志向に対応するため、企業におけるキャリアパスや待遇整備が必要。

令和7年度取組の方向性

- ・県内企業と学生の接点確保や、学生のキャリア観の醸成などに、関連事業を含め引き続き取り組む。
- ・外国人材と日本人社員相互の異文化理解に向けたワークショップ型研修、外国人材の能力や実績に応じた評価・処遇体制の整備など、外国人材が安心して働き、能力を十分に発揮できる環境づくり支援を強化。

令和6年度に実施したプロジェクト事業の進捗等



C：就職促進支援

取組	実績
合同企業説明会	学生や既卒者、一般求職者等を対象にしたマッチングイベントを開催 ※関連事業含む 参加者数：174名（1月末現在。3月に3回開催予定）

産業ひとづくり協議会での意見

- ・既卒者の早期離職も少なくない。そういった人材をどうマッチングして、就職を促すか。目に見えない学生たちへの支援をどうするかが重要。
- ・外国人材については、どのように滋賀に留まってもらうかが課題。

令和7年度の取組の方向性

- ・未内定者・早期離職者などとのマッチング支援の取組に向け、産業ひとづくり推進協議会で議論を進める
- ・留学生向け合同企業説明会において、“滋賀県で暮らす魅力”の発信を強化

地域活性化雇用創造プロジェクトの全体評価と次年度の方針

本年度の取組の概要

- 都道府県の実情や課題等に応じ、魅力ある雇用機会確保や企業ニーズにあった人材育成、就職促進等の事業を一体的に実施することで、地域における「良質な雇用」の実現を図る取組として実施。
※良質な雇用の条件：所定内賃金 229,200円／月以上 かつ 時間外労働20時間／月以下
- 本県においては、事業対象を大きく「若年層」「ミドル世代」「高度外国人材」として実施。
- 本年度から初めて地プロを活用し、「良質な雇用」の実現に向けたノウハウ蓄積の必要があることから、特に外国人材向けはスモールスタートで実施、協議会での議論等を通じ課題把握・深堀を進めた。

本年度の取組結果と評価

- 【アウトカム目標】良質な雇用の創出者数：30名 → 【実績】46名 ※3月10日時点
- 11月末までの中間実績を報告・評価する国の委員会においては、求職者の就職ニーズに幅広く応えられるよう、実施時期の早期化に向けた改善指示。

次年度の方針

<事業全体>

- ・事業実施時期の早期化に取り組む。

<国内人材（若年層・ミドル世代）>

- ・人材確保・定着・育成までを見据え、「人への投資」に取り組もうとする企業のニーズに応える施策を関連事業も含め広く展開するとともに、人材のキャリアデザイン意識を高め、両者の接点創出に取り組む。

<高度外国人材>

- ・外国人材と日本人社員相互の異文化理解や、能力や実績に応じた評価・処遇体制の整備など、外国人材が安心して働き、能力を十分に発揮できる環境づくり支援を強化。